

平成16年3月期 第1四半期業績概況(非連結)

平成15年8月7日

上場会社名 **ダイコク電機株式会社**

(コード番号: 6430 東証・名証第二部)

(URL <http://www.daikoku.co.jp>)

代表者 代表取締役社長

小山 晴久

問合せ先責任者 取締役総務センタ長

伊藤 茂年

TEL (052) 581-7111

1. 四半期損益計算書等の作成等に係る事項

四半期業績の公表は、前期第3四半期より開始いたしましたので、前年同期の数値については、業績比較の参考資料として集計した数値を掲載しております。

財務諸表等の作成に際して準拠した基準 : (中間財務諸表規則)

・会計処理方法の変更の有無 : 無

・中間決算等と異なる会計処理の有無 : 無

公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況(平成15年4月1日~平成15年6月30日)

(1) 経営成績(単体)の進捗状況

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第1四半期(3ヶ月累計)	6,908	19.1	538	52.8	688	46.7
15年3月期第1四半期(3ヶ月累計)	8,543		1,139		1,291	
(参考)15年3月期	40,281		5,468		5,715	

	当期(四半期)純利益		1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
16年3月期第1四半期(3ヶ月累計)	359	48.3	24	32	-	
15年3月期第1四半期(3ヶ月累計)	695		54	42	-	
(参考)15年3月期	2,981		200	74	-	

(注) 期中平均株式数 16年3月期第1四半期 14,783,900株 15年3月期第1四半期 12,783,900株
売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率

[経営成績(単体)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における我が国経済は、株式市況に多少の持ち直しは見られるものの、個人消費の低迷が続き、依然として厳しい状況下にあります。

当社が関わるパチンコ業界におきましては、特定のパチンコ遊技機に市場の人气が大きく集中したことにより、それ以外の遊技機メーカー各社は苦戦を強いられました。一方、パチスロ遊技機は、警察庁より試験申請制度改訂の通達が出され、ファンの人気を集めた大量メダル獲得機の申請が規制されたこともあり、ホール経営への影響が懸念されます。

当社の第1四半期業績は、期初計画を若干上回りましたが、前年同期のような制御システム事業における突出した大ヒット機種もなく、売上高は69億8百万円(前年同期比19.1%減)、営業利益は5億38百万円(前年同期比52.8%減)、経常利益は6億88百万円(前年同期比46.7%減)、当期純利益は3億59百万円(前年同期比48.3%減)となりました。

事業部門別の業績は次の通りであります。

情報システム事業では、一部の勝ち組企業を除き、パチンコホールの新店や新装開店の件数が減少しており、厳しい環境が続いております。

こうした状況下、当事業部門ではパチンコホールの経営者・管理者を対象に、新内規適用のパチンコ遊技機および試験申請制度改訂に伴う規制により影響を受けるパチスロ遊技機を有効に活用するための、ホール

営業戦略セミナーを全国で開催し、当社顧客ホールへのコンサルティング営業を強化することにより、ホールコンピューティングシステム「C」の販売促進に努力いたしました。

その結果、前年同期比でホールコンピュータは伸びておりますが、情報公開システムは減少し、売上高累計は、41億13百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

制御システム事業では、大ヒット機種に恵まれた前年同期に比べると、表示ユニット、制御ユニットともに減少し、売上高累計は、27億95百万円（前年同期比35.6%減）となりました。

当事業部門では、開発力強化および開発スピードの向上を目的として、東京に表参道デザインスタジオを新設し、優秀な人材を確保することにより体制強化をはかっております。

(2)財政状態（単体）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
16年3月期第1四半期(3ヶ月累計)	37,562	18,162	48.4	1,228	55
15年3月期第1四半期(3ヶ月累計)	38,241	15,173	39.7	1,186	96
15年3月期	42,315	18,677	44.1	1,246	17

(注) 期末発行済株式数 16年3月期第1四半期 14,783,900株 15年3月期第1四半期 12,783,900株
 期末自己株式数 16年3月期第1四半期 -株 15年3月期第1四半期 -株

[財政状態（単体）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の財政状態は、総資産については支払手形の決済および納税、配当等の支出による当座資産の減少により、前期末と比べ47億53百万円減少し375億62百万円となりました。

株主資本については、配当等の利益処分により前期末と比べ5億15百万円減少し181億62百万円となりました。

3.平成16年3月期の業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
上期	15,475	1,015	535	-	-
通期	38,000	4,415	2,357	30	00

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 159円43銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては下記をご参照下さい。

[業績予想（単体）に関する定性的情報等]

上期・通期の業績予想は、今後の経営環境の厳しさを踏まえ、前回の予想通りとし変更いたしておりません。

【通期の見通しに関する注意事項】

本資料中に記載されている市場予測や業績見通しは、当社の経営陣が現在有効な情報に基づき判断したもので、その実現には潜在的风险や不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。従いまして、諸要因の変化により実際の業績は記載事項と大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご承知おきください。

添付資料

第1四半期の販売実績

事業部門別		期別		16年3月期第1四半期 (15.4.1~15.6.30)		15年3月期第1四半期 (14.4.1~14.6.30)		対前年 同期比
		売上高	構成比	売上高	構成比			
	(情報システム事業)	百万円	%	百万円	%			%
製品	ホールコンピュータ	1,325	19.2	1,271	14.9			4.2
	景品顧客管理システム	704	10.2	690	8.0			2.0
	情報公開システム	766	11.1	873	10.2			12.3
	その他	142	2.0	108	1.3			31.5
商品	消耗品等	67	1.0	75	0.9			10.7
	工事収入等	1,109	16.0	1,189	13.9			6.7
	小計	4,113	59.5	4,206	49.2			2.2
	(制御システム事業)							
製品	表示ユニット	1,064	15.4	2,297	26.9			53.7
	制御ユニット	372	5.4	1,095	12.8			66.0
	その他	16	0.3	178	2.1			91.0
商品	部品	1,342	19.4	767	9.0			75.0
	小計	2,795	40.5	4,337	50.8			35.6
	合計	6,908	100.0	8,543	100.0			19.1